

社会人・学生のデジタルバッジ 取得に関する調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

目次

調査概要

P.4

サマリ

1. デジタルバッジの認知度は社会人26%、学生20%。取得率はさらに限定的 P.6
2. 多くのメリットが評価される一方、最大の課題は「使い方、使い道が不明」 P.7
3. 「就職・転職・キャリアアップに役立つなら利用したい」の声も。必要な施策とは P.8

調査結果

P.9

調查概要



調査概要

調査目的	社会人や学生におけるデジタルバッジの認知度や取得状況を調査し、課題と今後の動向を探る
調査手法	アンケート専門サイトを用いたWebアンケート調査
調査期間	2024年11月25日～11月26日
調査対象者	社会人（会社員／派遣・契約社員／自営業／自由業／パート・アルバイト） 50名 学生（大学生・大学院生・専門学校生） 50名
有効回答数	100名
実施主体	eラーニング戦略研究所

サマリ



1. デジタルバッジの認知度は社会人26%、学生20%。取得率はさらに限定的

- 1 デジタルバッジの認知度は社会人26%、学生20%。仕事や学校を通じてデジタルバッジを知ったという人が多い。
- 2 デジタルバッジを知っている人のうち、デジタルバッジ取得率は社会人38.5%、学生10%。
- 3 ただし、「取得したことはないが興味はある」を合わせると、社会人の8割以上がデジタルバッジにポジティブなイメージを持っていることが読み取れる。
- 4 社会人は「会社の研修の受講証明」「資格検定の合格証明」として、学生は「学校の教育プログラムの受講証明」としてデジタルバッジを取得している。
- 5 社会人は取得したデジタルバッジを「SNSプロフィールに表示」「履歴書や職務経歴書に記載」して「職場での評価対策やスキル証明」に利用している。一方、取得したのにも関わらず、「あまり活用できていない」という人も20%に上る。
- 6 学生は取得したデジタルバッジを「学校のシステムに表示」し、「就職活動」に利用している。

2. 多くのメリットが評価される一方、最大の課題は「使い方、使い道が不明」

- 7 デジタルバッジに関心がある社会人や学生の間では「メールやSNSで簡単に共有できる」「紛失の心配がない」「スマホで持ち歩ける」「恒久的にスキル証明が可能」などのメリットが評価されている。これは従来の紙の証明書と比較した際の大きな利点である。
- 8 最大の課題は「使い方、使い道がわからない」社会人54.5%、学生66.7%。これは現時点におけるデジタルバッジの致命的な弱点と言える。
- 9 「社会的認知度が低い」「発行している企業や学校が少ない」ことも普及の妨げになっている。
- 10 デジタルバッジの今後については「普及は限定的」との見解が多数である。とくに「デジタルバッジは今後広がる」と回答したのは、社会人36.4%に対し学生は0%で、学生の懐疑的な姿勢が顕著である。

3. 「就職・転職・キャリアアップに役立つなら利用したい」の声も。必要な施策とは

11

一方、デジタルバッジを知らない人でも「就職・転職・キャリアアップに役立つなら積極的に活用したい／普及すれば活用したい」という意見が社会人40.5%、学生42.5%に上る点が注目される。

12

以上の結果より、社会人・学生のデジタルバッジ認知度や取得率は低いものの、その実用性、とくに就職・転職・キャリアアップで役立つことが明確になれば普及が広がる可能性は十分にある。今後は、企業側が採用プロセスでデジタルバッジを評価対象とする仕組みづくりや、教育機関と企業の連携、具体的な成功事例の共有などが求められる。

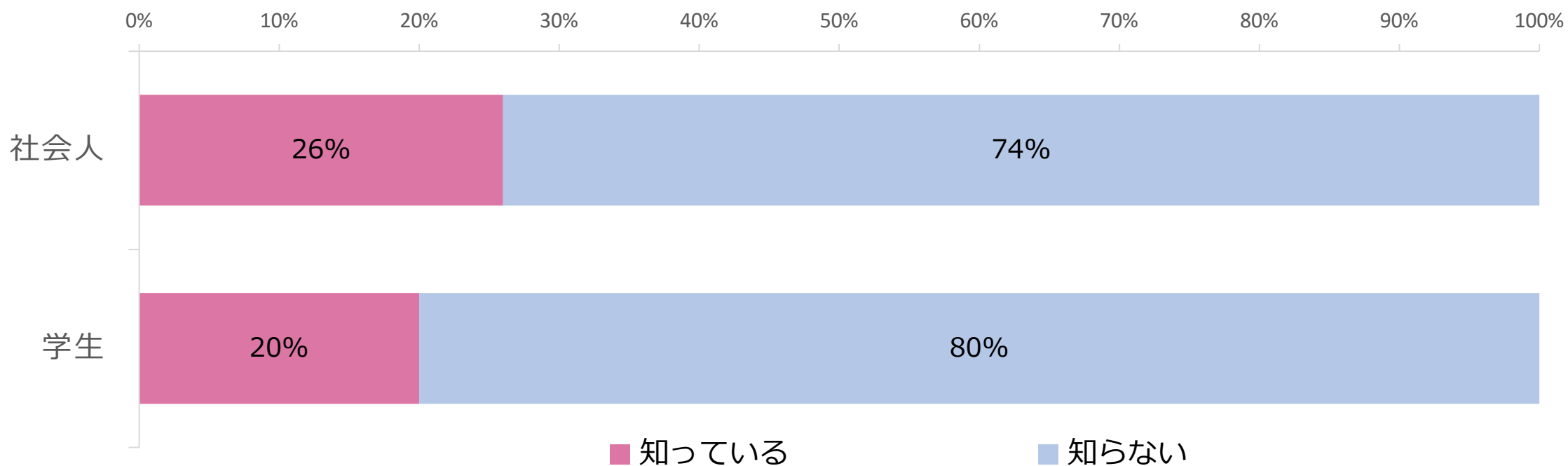
調查結果



調査結果

1. デジタルバッジの認知度

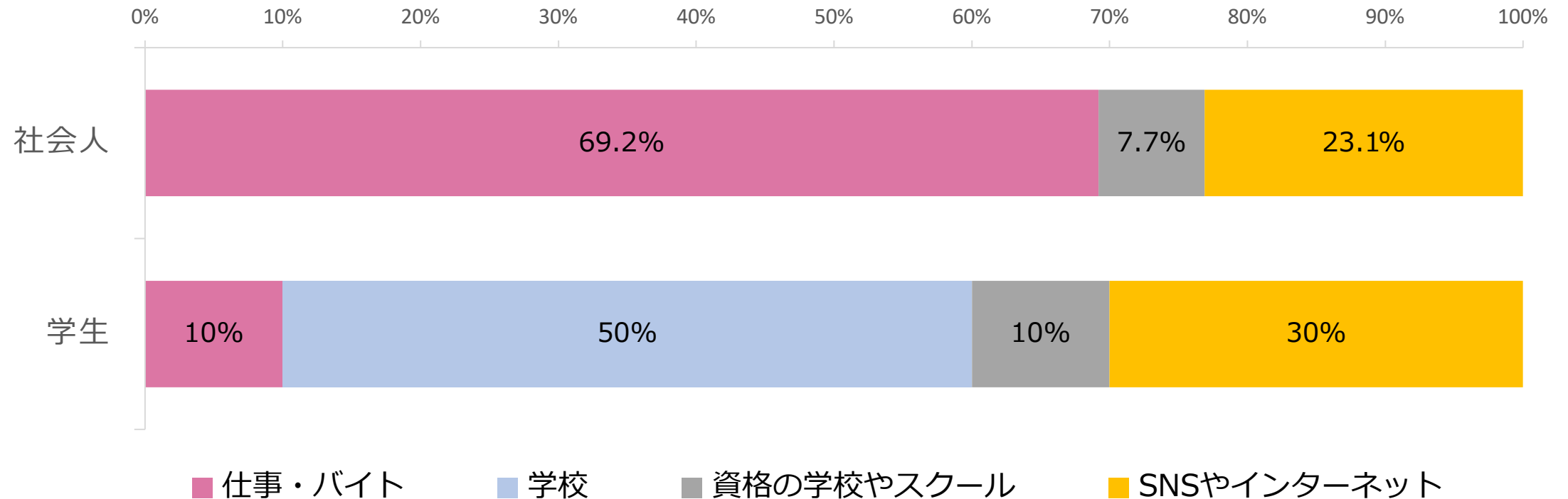
社会人の26%、学生の20%が「デジタルバッジを知っている」と回答。



Q：デジタルバッジ（オープンバッジ）をご存じですか？（n=社会人50、学生50）

調査結果 2. デジタルバッジを知ったきっかけ

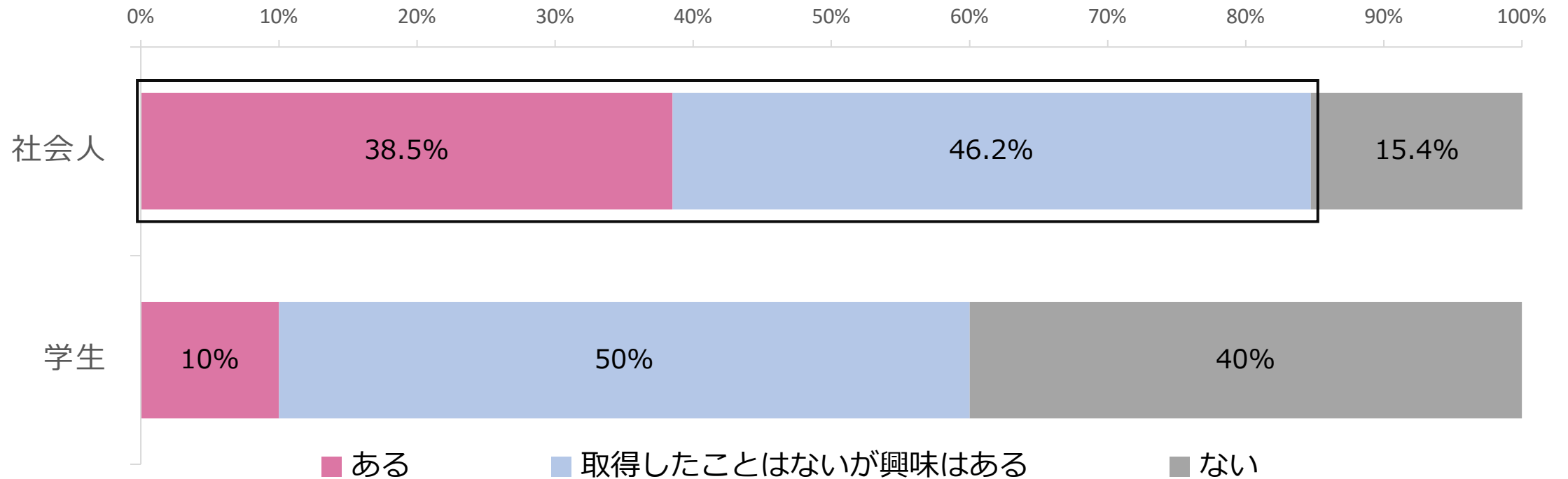
仕事や学校でデジタルバッジを知ったという人が多い。SNSやインターネットがきっかけになった人も約3割。



Q：デジタルバッジをどこで知りましたか？(n=社会人13、学生10)

調査結果 3. デジタルバッジの取得率

デジタルバッジを知っている人のうち、デジタルバッジ取得率は社会人38.5%、学生10%。「取得したことはないが興味はある」を合わせると社会人の8割以上がデジタルバッジにポジティブなイメージを持っていることが読み取れる。

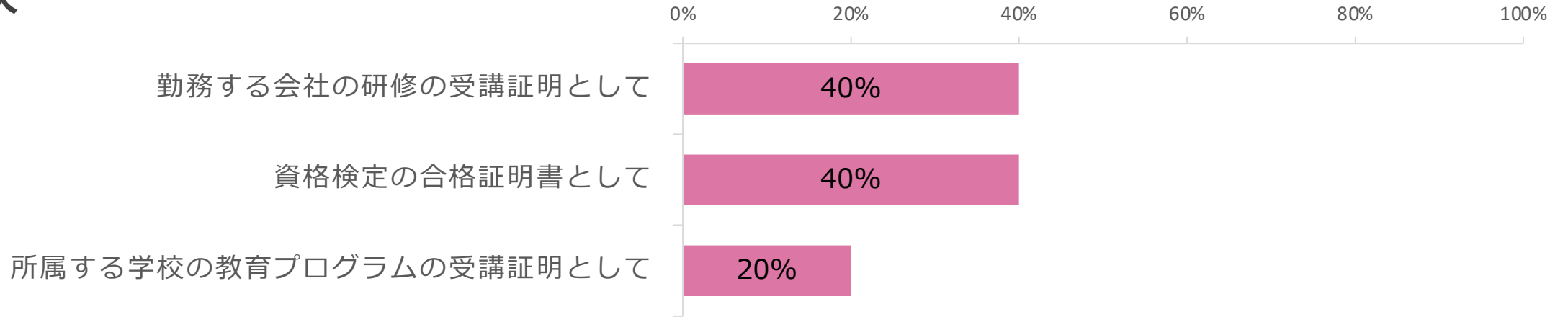


Q：デジタルバッジを取得したことがありますか？(n=社会人13、学生10)

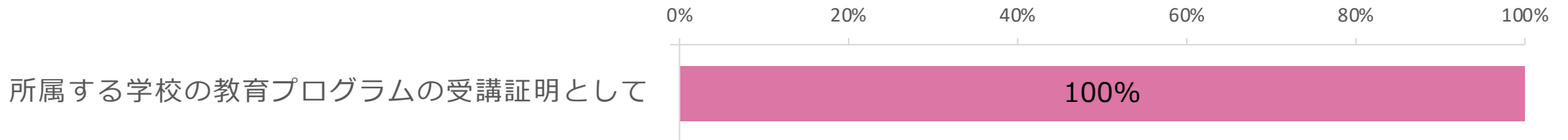
調査結果

4. デジタルバッジの取得方法

社会人



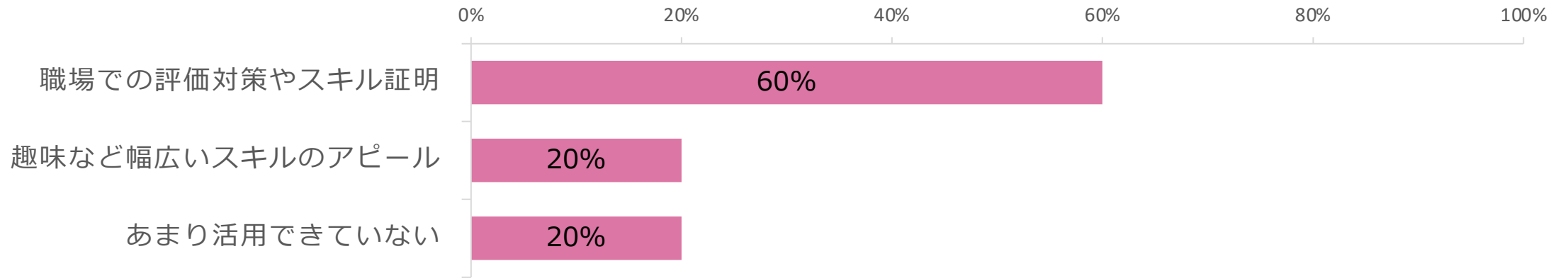
学生



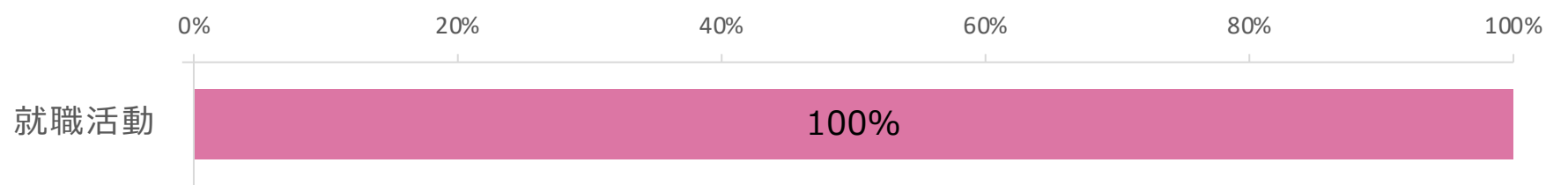
Q：デジタルバッジをどのように取得しましたか？ (n=社会人5、学生1)

調査結果 6. 取得したデジタルバッジの活用方法

社会人



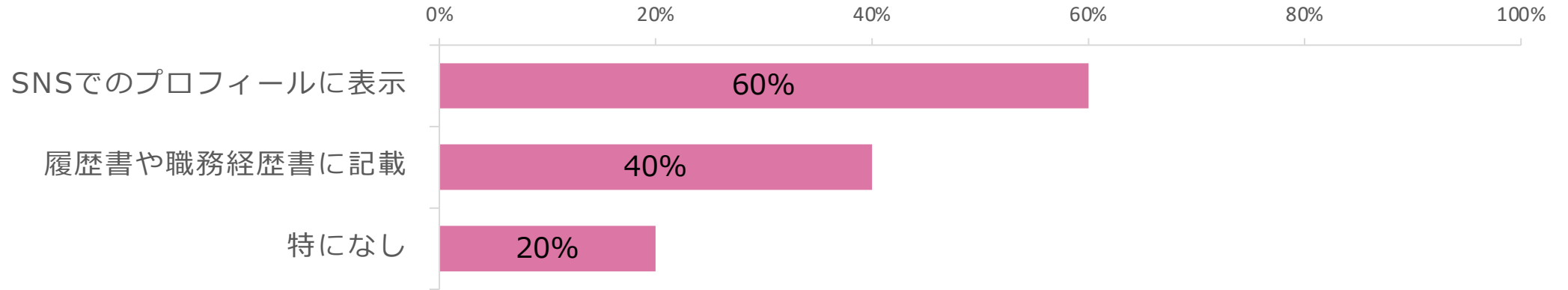
学生



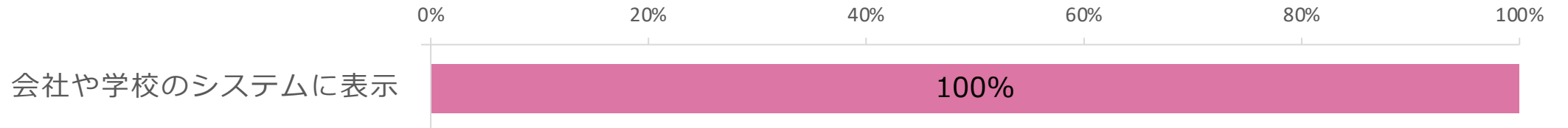
Q：取得したデジタルバッジをどのように活用していますか？近いものをお答えください。(n=社会人5、学生1)

調査結果 6. 取得したデジタルバッジの表示場所

社会人



学生



Q：取得したデジタルバッジをどこに表示していますか？近いものをお答えください。(n=社会人5、学生1)

調査結果

7. デジタルバッジが役に立ったエピソード

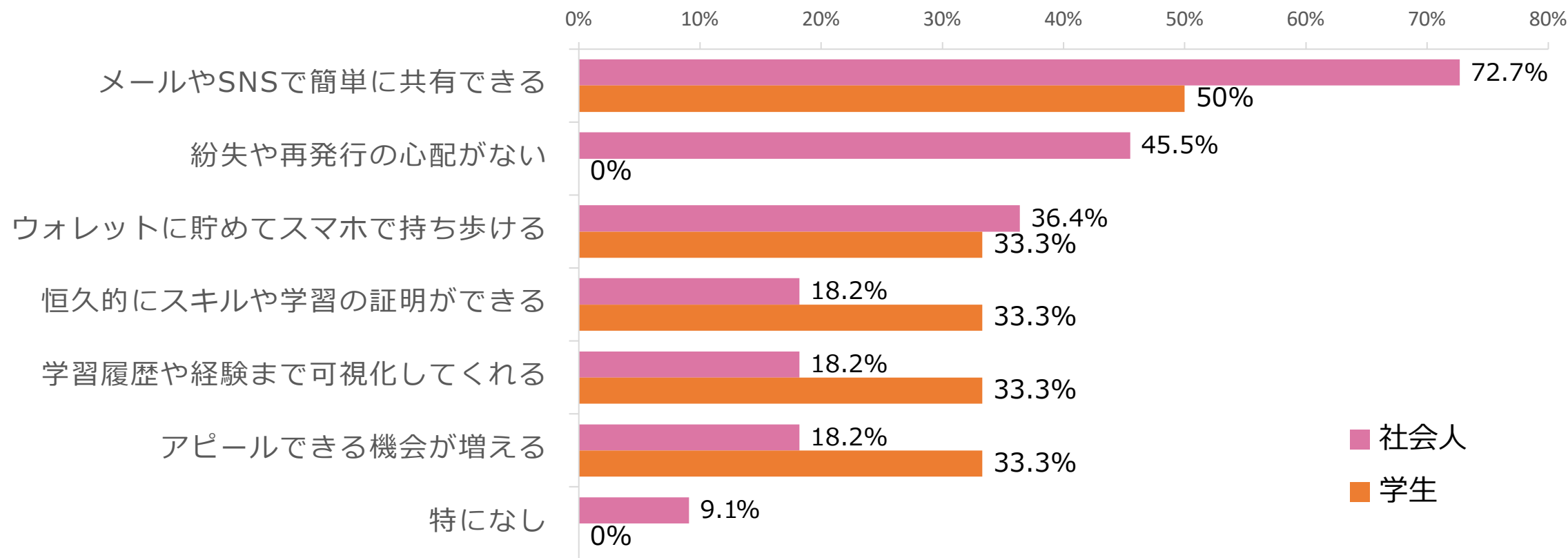
- 就活に役立った（会社員）
- 自己評価（会社員）

- 身分証につかえる（学生）

Q：デジタルバッジを取得して良かった（役に立った）と感じたエピソードがあれば教えてください。（有効回答数＝社会人2、学生1）

調査結果 7. デジタルバッジの利点

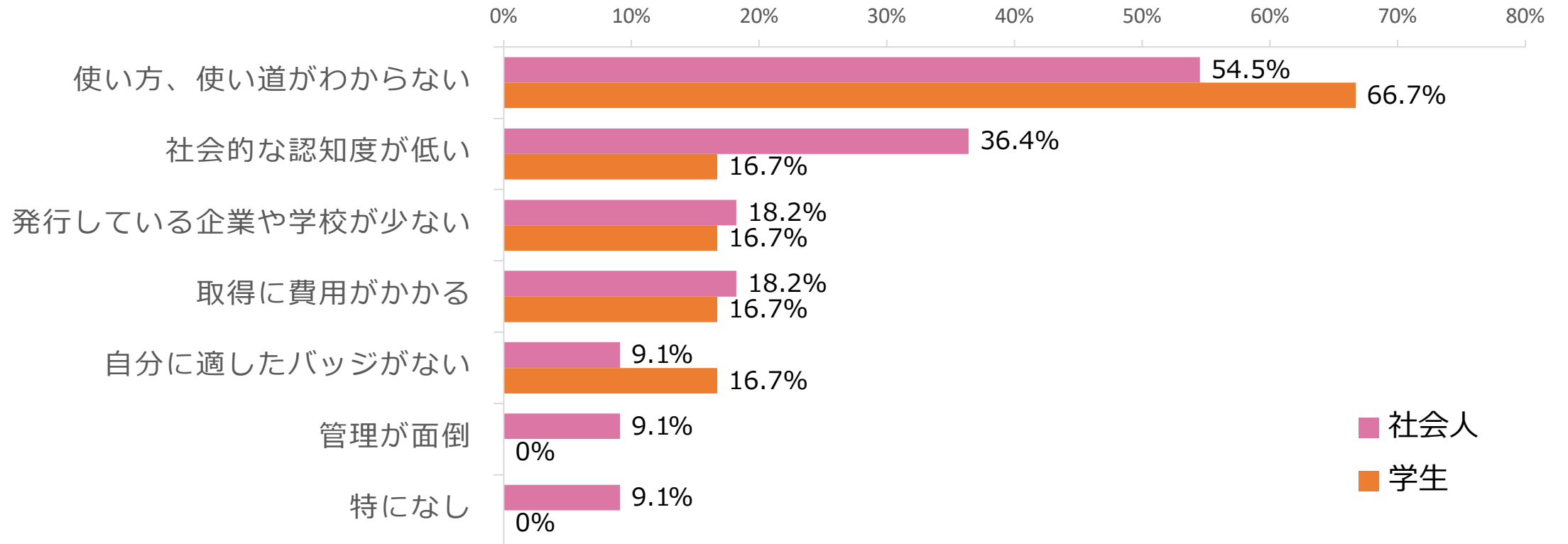
デジタルバッジは「メールやSNSで簡単に共有できる」「紛失の心配がない」「スマホで持ち歩ける」「恒久的にスキル証明ができる」「学習履歴や経験まで可視化してくれる」点が評価されている。



Q：デジタルバッジのどのような点に魅力を感じますか？（複数回答）（n=社会人11、学生6）

調査結果 8. デジタルバッジの課題

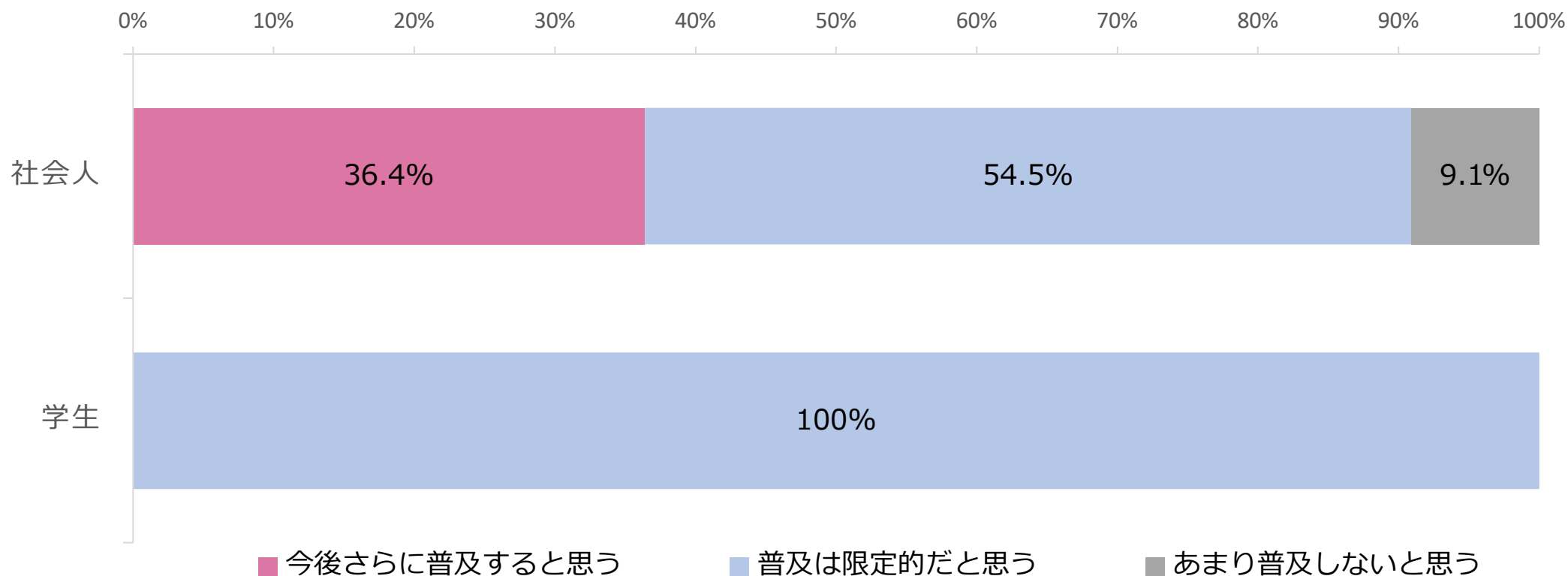
一方、課題としては「使い方、使い道がわからない」社会人54.5%、学生66.7%が最多。「社会的認知度が低い」「発行している企業や学校が少ない」ことも普及の妨げになっていると考えられる。



Q：デジタルバッジに対して感じている課題は何ですか？（複数回答）（n=社会人11、学生6）

調査結果 9. デジタルバッジの今後の普及について

「デジタルバッジの普及は限定的」という見解が社会人・学生共に多数を占めているものの、社会人においては3割以上が今後さらに普及すると感じている。



Q：デジタルバッジの普及についてどう考えますか？ (n=社会人11、学生6)

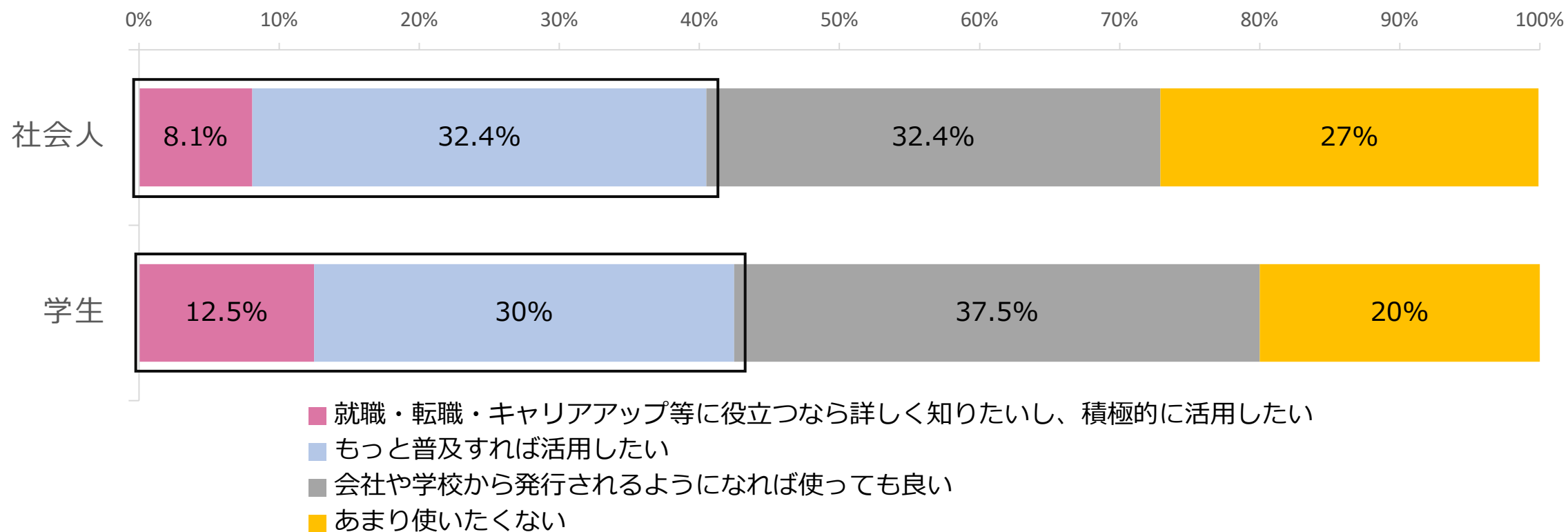
調査結果 10. 今後のデジタルバッジの活用イメージ

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">● 転職活動の際に有利に働く様に（派遣・契約社員）● 転職活動（会社員）● 就職活動でのアピール（会社員）● 自分の能力の証明の一つとして（自由業フリーランス）● アピールポイント（会社員）● プロフィールに記載（会社員）● 自己表現（会社員）● 生活により利便性を与える使い方をしたい（会社員）● 証明書（会社員） | <ul style="list-style-type: none">● 身分証（学生） |
|--|---|

Q：今後、デジタルバッジをどのように活用したいですか？（自由回答）（n=社会人11、学生6）

調査結果 11. 今後デジタルバッジを利用したいか

デジタルバッジを知らない人でも「就職・転職・キャリアアップに役立つなら積極的に活用したい／普及すれば活用したい」という意見が社会人40.5%、学生42.5%に上る点が注目される。



Q：デジタルバッジは海外の名門大学、一流企業、政府機関でも活用されており、国内でも普及が広がっています。今後のデジタルバッジについての考え方として近いものを選択してください。(n=社会人37、学生40)

社会人・学生のデジタルバッジ取得に関する調査報告書

デジタル・ナレッジ 調査



2025年3月発行

発行元：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」

〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

<https://www.digital-knowledge.co.jp/>

(禁無断転載・転用・複写)